

# トヨタモビリティ滋賀株式会社

## 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



® 環境省  
エコアクション21  
認証番号0005674

発行日： 2024年7月1日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
認証・登録の対象組織・活動	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
緊急事態対応の試行・訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

## トヨタモビリティ滋賀株式会社 環境経営理念

私たちは、この風光明媚な滋賀の地で商いを創め半世紀が過ぎました。滋賀県では今後まだまだ人口増が予想される一方で、環境への負荷が懸念されております。20年後、30年後の人達から、トヨタモビリティ滋賀がこの地にあってよかったと言ってもらえる会社を目指し、全社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組んでまいります。

### 行動指針

当社は、自動車の販売と整備における環境への影響を理解し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について取り組みます。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
  - ☆ 事務所・工場での電気使用量並びに営業活動における燃料使用量を減し、CO<sub>2</sub>の排出量を削減します。
  - ☆ 事業活動に伴う廃棄に関して、積極的にリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
  - ☆ 事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
  - ☆ 環境に配慮した製品の販売促進とサービスの提供を推進します。
  - ☆ グリーン購入の拡大を推進します。
  - ☆ 化学物質の適切な管理を行います。
  - ☆ 事業活動で使用する化学物質のグリーン化と管理を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定:平成21年11月15日

改定:平成30年10月1日

見直:令和6年6月10日

代表取締役社長

小澤 伸之

**□組織の概要**

(1) 名称及び代表者名

トヨタモビリティ滋賀株式会社 (旧社名: 滋賀トヨペット株式会社 2022年1月1日付 商号変更)  
 代表取締役社長 小澤 伸之

(2) 所在地

事業所名	住所	従業員数	建物面積
本社・大津店	大津市富士見台1-1	92	3574
レクサス大津	大津市別保3-1-36	26	1187
唐崎店	大津市際川4-2-23	13	902
小野店	大津市小野72-1	10	496
草津店	草津市南草津2-1-26	22	1054
守山店・ハイエース	守山市播磨田町1025	23	1710
ウエルコム栗東・新車センター・U-CarLAND	栗東市大橋7-3-17	55	6938
水口店	甲賀市水口町北泉2-38	21	1282
近江八幡店	近江八幡市友定町468-1	16	1279
Sat八日市	東近江市沖野2-14-1	15	1732
Sat愛知川	愛知郡愛荘町長野233-1	14	3269
Sat彦根	彦根市芹川町364-1	15	2036
長浜店	長浜市大辰巳町10-1	19	1158
高島店	高島市鴨3124-1	13	1037
ジェームス栗東店	滋賀県栗東市霊仙寺1丁目3-5	15	1867

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 坂下 雅之 TEL : 077-534-1212  
 担当者 総務部総務課長 片岡 哲 TEL : 077-534-1212  
 E-mail : kataoka-satoshi@toyota-mobi-shiga.jp

(4) 事業内容

トヨタ車販売、レクサス車販売、U-Car販売・買取、自動車整備、カーリース、生命保険・損害保険代理店業務、KDDI代理店業務、自動車関連商品の販売

(5) 事業の規模

(6) 事業の規模

- ・ 設立年 : 昭和32年 (1957年) 2月
- ・ 資本金 : 30,000千円
- ・ 売上高 : 2,600,543万円 (2023年度)
- ・ 従業員数 : 369人 (2024年4月1日現在)

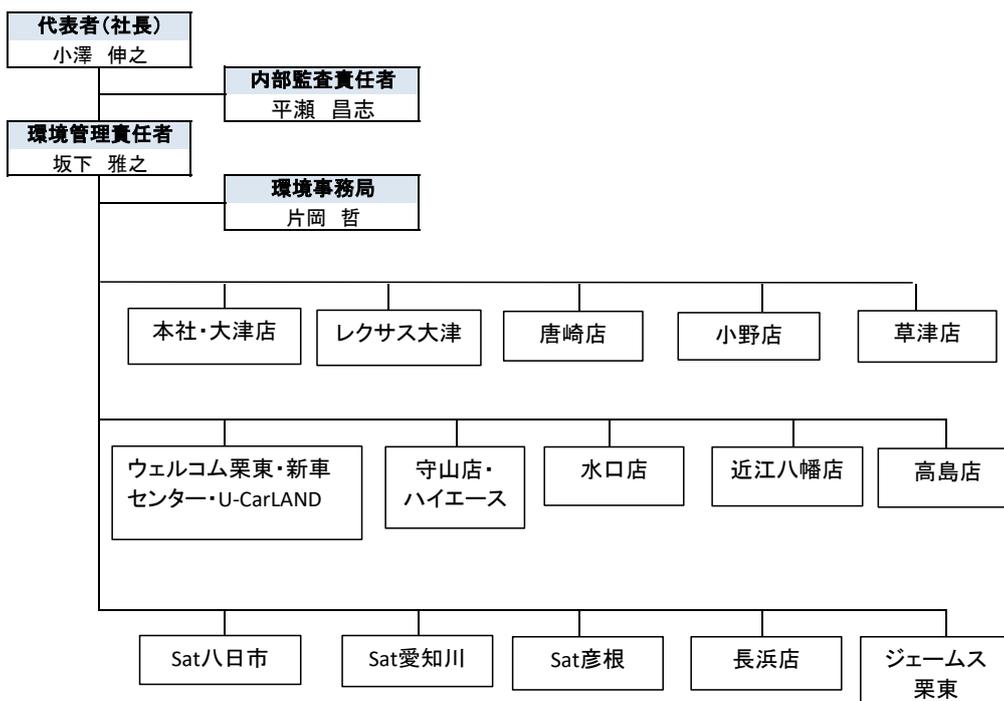
**□認証・登録の対象組織・活動**

登録組織名 : トヨタモビリティ滋賀株式会社

対象事業所 : 本社・大津店、唐崎店、小野店、草津店、ウエルコム栗東・U-CarLAND・新車センター、守山店・エリアハイエース、水口店、近江八幡店、Sat八日市、Sat愛知川、Sat彦根、長浜店、高島店、レクサス大津、ジェームス栗東店

活動 : 自動車販売・整備・関連商品の販売

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長 店長 支配人	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する内部監査の計画</li> <li>環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,226,308	1,538,614	1,595,000
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	62	63	63
産業廃棄物排出量	トン	320	362	320
水使用量	m <sup>3</sup>	18,343	15,915	20,357

※2021～2023年度の二酸化炭素排出係数： 0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (関西電力の2019年度の調整後係数)

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2020年			2023年度			評価	2024年度	2025年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)				
電気使用量削減	kg-CO <sub>2</sub>	900,718	891,711	872,553	○	882,704	873,697			
	kWh	2,832,448	2,804,124	2,743,877	○	2,775,799	2,747,475			
	基準年度比	100%	99%	97%		98%	97%			
自動車燃料削減	kg-CO <sub>2</sub>	446,551	442,086	717,042	×	437,620	433,155			
	ガソリン (L)	152,712	151,185	246,438	×	149,658	148,130			
	基準年度比	100%	99%	161%		98%	97%			
	軽油 (L)	35,760	35,402	56,320	×	35,044	34,687			
灯油使用量削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,558	6,493	5,406	○	6,427	6,362			
	基準年度比	100%	99%	82%		98%	97%			
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	1,353,828	1,340,290	1,595,000	×	1,326,752	1,313,213			
	基準年度比	100%	99%	118%		0%	0%			
産業廃棄物の削減	t	314	311	334	×	308	305			
	基準年度比	100%	99%	106%		98%	97%			
水道水の削減	m <sup>3</sup>	15,468	15,313	20,357	×	15,159	15,004			
	基準年度比	100%	99%	132%		98%	97%			
化学物質の適正管理	行動目標 (次項による)									
グリーン購入の推進	行動目標 (次項による)									
環境に配慮した製品販売促進	行動目標 (次項による)									

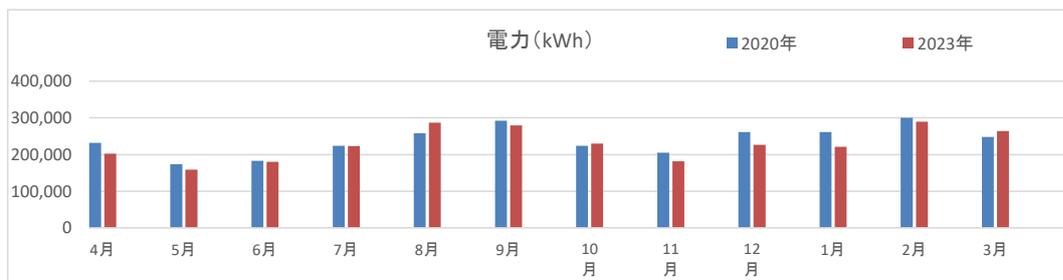
※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力㈱の2019年度調整後排出係数0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標: ○達成 ×未達成

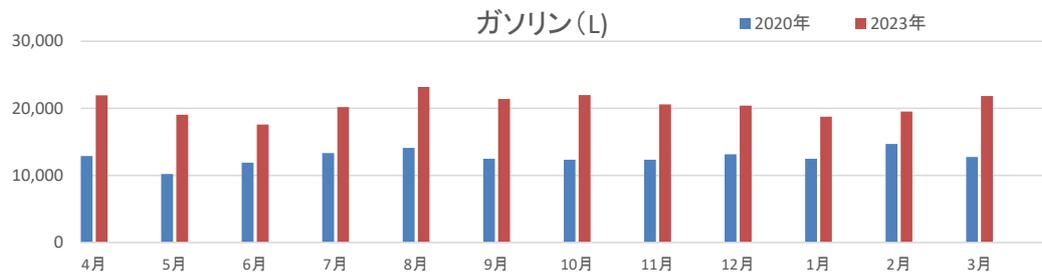
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電気使用量削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	総量で3%の減少となった。今期は平均退勤時刻が遅くなった半面、空調機器更新や照明器具LED化を進めたため、結果的に減少に繋がったと考える。次年度以降も継続して使用量抑制に取り組む。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・定時退社の実施	×	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	

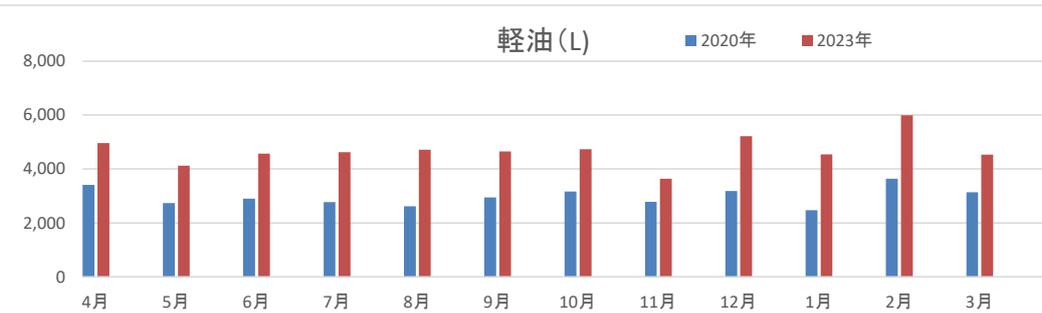


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	231,611	173,677	183,144	223,611	258,043	292,286	224,161	204,911	261,378	261,378	300,421	247,769
2023年	202,173	158,561	180,431	223,223	286,553	279,589	230,199	181,625	226,653	221,192	289,500	264,178

自動車燃料削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	大幅に増加しているが、これは2023年1月以降納車台数が急増したことにより、納車用の給油量が増えたことによるものである。全社員によるエコドライブの実践(エコドライブ取り組みシート活用)、社用車や社員自家用車の電動車使用推進を継続的に取り組んでいるが、異なるアプローチで更なるCO2削減策を展開する。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブの推進	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	

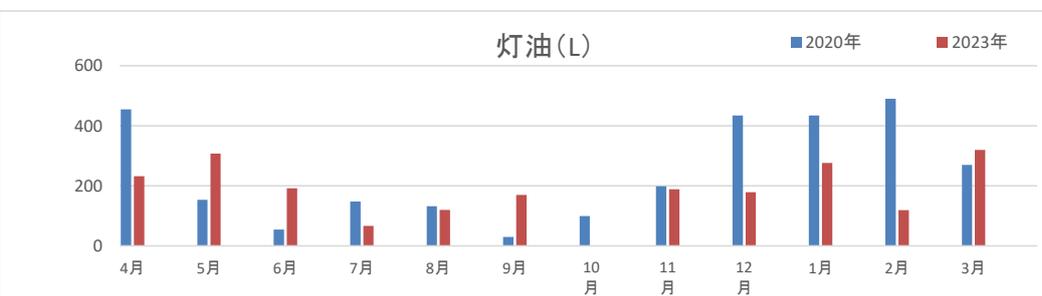


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	12,904	10,232	11,907	13,348	14,118	12,487	12,327	12,325	13,154	12,476	14,677	12,757
2023年	21,957	19,059	17,590	20,169	23,173	21,409	21,997	20,571	20,399	18,744	19,537	21,833



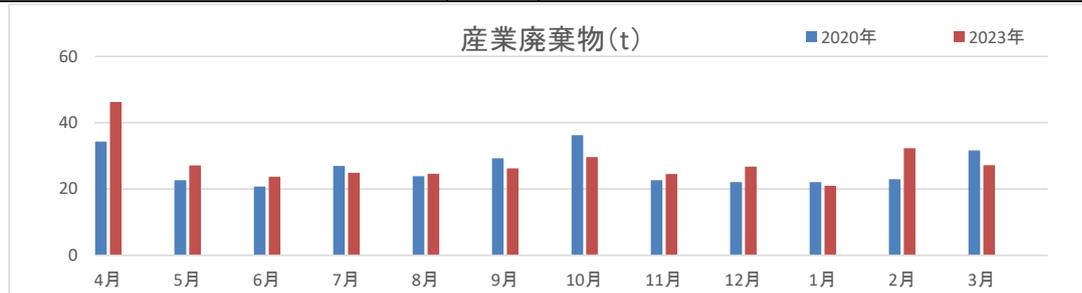
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	3,407	2,738	2,901	2,769	2,618	2,942	3,169	2,781	3,182	2,471	3,641	3,141
2023年	4,959	4,120	4,574	4,628	4,714	4,654	4,732	3,640	5,220	4,545	5,996	4,538

灯油使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	総量で18%の減少と大幅に改善できた。車検整備でスチーム洗浄機を使用する時の適切な使用方法を徹底する。
・暖房温度の適正化	○	
・重ね着	○	



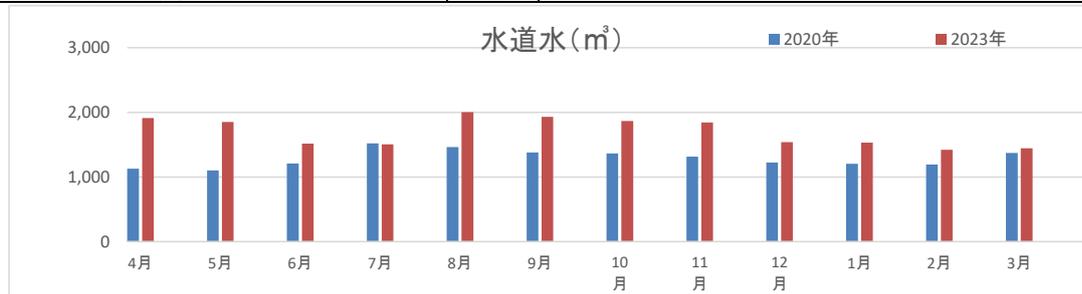
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	454	153	55	148	132	30	100	198	434	434	490	270
2023年	232	307	192	67	120	170	0	189	179	276	119	320

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	総量で6%増、目標差20トンと大幅増となった。主には整備台数と比例する部分があるが、次年度は排出量目標達成のため、産廃コンテナの運用基準を見直し排出量管理を厳格化していく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・廃棄物別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	34	23	21	27	24	29	36	23	22	22	23	32
2023年	46	27	24	25	25	26	30	25	27	21	32	27

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	洗車台数が主な要因となるが、総量で32%の増加に留まった。入庫量とほぼ比例していると考えられる。洗車作業時の垂れ流しや植木への水やり等で無駄遣いをしないよう再徹底を図る。また、埋設配管の老朽化による漏水が起こる可能性はどの店舗にもある。使用量を注視し、異常値が出た場合は速やかに対処する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・自動水栓取り付け	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	1,128	1,100	1,206	1,519	1,464	1,379	1,364	1,316	1,224	1,203	1,193	1,372
2023年	1,911	1,850	1,515	1,505	2,004	1,930	1,865	1,842	1,540	1,530	1,422	1,443

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害物質の表示の徹底	○	車検整備台数と比例するものとなる。適正量の使用及びルール通りの適正管理を再度周知する。
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性の少ない資材の購入	○	SDGs、カーボンニュートルの取り組みと合わせ、業務や日常生活の中で実践できることから実施している。特に、カーボンニュートルへの取り組みは世界的に急加速させなければいけない状況にあることから、当社でもより一層の取り組み強化を進める。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入	○	

環境に配慮した製品販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・エコカーの販売促進	○	従来より取り組んでおり、特に電動車の優遇施策は販売時の効果が大きいと考える。今後も継続し、1台でも多くの低燃費車・電動車の販売・普及を推し進めていく。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、安全運転管理者等
自動車リサイクル法	自動車整備等からの廃棄物の管理、排出。引取り廃車の適正処理委託
家電リサイクル法	特定家庭用機器（エアコン、テレビ、冷蔵庫等）のリサイクル
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守
水質汚濁防止法	事故時の報告
化学物質管理法	PRTR制度、SDS管理
下水道法	除害施設の管理
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	対象エアコンの点検、簡易点検（点検委託）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□緊急事態対応の試行・訓練**

<b>緊急事態の想定： 地震・停電の発生</b>		
■実施日： 2023/5/19	■実施場所 レクサス大津	
■参加者： レクサス大津の全従業員		
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練		
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
巨大地震発生を想定し、避難訓練、通報、消火訓練を実施。		
■実施状況の様子		
		

<b>緊急事態の想定： 火災の発生</b>			
■実施日： 2024/2/15	■実施場所 高島店		
■参加者： 高島店従業員	■実施内容： ・火災対応、通報訓練		
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
消火器の使用方法、避難誘導及び通報訓練を実施。			
■実施状況の様子			
			

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月10日

- ①車両販売や整備に直接関係する燃料や水道の使用料は増加したものの、電気使用は僅かではあるが基準年に比べ減少した。特に燃料は、2023年1月以降にメーカーからの新車配車が高い水準で続いていることで、納車が増え自ずと給油量が大幅増加、二酸化炭素排出量増の影響したと考える。
- ②SDGsやMLGsの精神とカーボンニュートラルへの取り組みをこれまで以上に積極的に取り入れること、そして、事業活動の中で環境経営改善への取り組みを計画的に実践すること。
- ③EA21ガイドライン2017版に移行した取り組みを実施しているが、第三者(行政やお客様)から評価される取り組みを推進し、名実ともに環境経営を実現している企業と目指すこと。2024年度以降、2030年を見据えより具体的に二酸化炭素排出量削減を実践すること。
- ④残念ながら環境マイスター研修は廃止となったが、カーボンニュートラルへの取り組みを通じて環境に優しい社員の育成を継続し、企業文化としてその精神を醸成させること。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

- 1 トレーニングセンターの建築に際し、太陽光発電を導入。  
エコアクション21と連動した環境への取り組みを行っています。  
トレーニングセンター内の電気として使用しています。



E-COMトレーニングセンター年間発電量(2010年設置)：6,646kWh(2022年度)  
 ウエルコム栗東年間発電量(2013年設置)：27,157kWh(2022年度)

- 2 小学校にて環境教育の実施例



- 3 ふれあいグリーンキャンペーンによる苗木の寄贈(2022年度)  
 滋賀県立高校や滋賀県平和祈念館、滋賀県立看護専門学校、滋賀県立総合病院他に苗木及び環境貢献植物を1657株寄贈しました。



#### 4 野洲のおっさん子ども食堂

おにぎりを食べることで子どもを笑顔にする「おにぎりニコリプロジェクト」  
2020年1月16日、大津長等学区在住の子どもを対象に学習の場と食事を提供する  
「野洲のおっさん子ども食堂」(野洲のおっさんおにぎり食堂の2階)にオープンしました。  
株式会社まちおこしとの共同プロジェクト「野洲のおっさん子ども食堂」は、おにぎり食堂の  
収益でこども食堂を開催し、おいしいおにぎりを通して地域の子どもや商店街を元気にする  
プロジェクトです。



#### 5 セーフティーキャンペーン

トヨタモビリティ滋賀は、自然災害発生時に地域の皆様のお役に  
立てるよう、以下の活動に取り組んでいます。

- ・飲料水を備蓄し、自然災害発生時に被災地へ供給
- ・9月1日「防災の日」にあわせて、「防災対策BOOK」  
を配布

\* 飲料水は5年保存可能のものを備蓄



非常用保存水



防災用ウェットティッシュ



ブルーシート